

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No	事業の名称	事業の概要	担当所属	事業総額 (円)	臨時交付金活用額 (円)	事業の実施状況(実績)	効果検証	
				1,542,974,216	1,294,328,000			
1	防災活動支援事業	感染症拡大防止とその他の災害等に備え、避難所等の衛生環境を確保するため、衛生用品を購入する。	総合危機管理課	3,321,263	3,321,263	4,959,821	消毒液、マスク、非接触体温計、除菌タオル、フェイスシールド等を購入し、避難所等の新型コロナウイルス感染症対策を実施した。	避難所等の新型コロナウイルス感染症対策を実施することができた。
			消防本部 地域防災課	1,638,558	1,638,558		手指消毒液、マスク、ニトリルグローブ、ハンドソープ、非接触型体温計及びマスガード等の感染防止対策用消耗品の購入	消防団活動において必要となる感染防止対策用の消耗品を配備することにより、感染拡大防止対策を図ることができた。
2	医療提供体制等の市民への周知・協力依頼事業	感染症拡大防止対策について住民の協力を求めるために横断幕や文書等で周知するとともに、集団感染リスクのある社会福祉施設を対象とした研修会を開催する。	企画振興部 広聴情報課	886,600	886,600	1,734,980	啓発横断幕の作成(2種)及び設置(2回)	市民及び来訪者に感染拡大防止の周知、啓発を行うことができた。
			健康福祉部 健康推進課	77,000	77,000		市民に感染予防を周知するため、新型コロナウイルス感染症予防啓発の懸垂幕を作成した。	市役所に「新型コロナウイルス感染症予防3密」の懸垂幕を掛け、市民に周知ができた。
			健康福祉部 健康推進課	492,260	492,260		受診者数を均等化するため受付時間を区切り個々の受付時間を指定しその案内文書と問診票、健康チェックリスト等を事前に郵送するようにした。封筒の表面に感染対策についての記載を入れた。	受付時間を細かく指定したことで、検診会場のがん検診の混雑が避けられた。また、問診票を事前に送付することで検診会場での滞在時間の短縮につながった。通知用の封筒はコロナ感染症予防の啓発にもなった。
			健康福祉部 健康推進課	279,120	279,120		肺がん検診受診者を均等化するため受付時間を区切り個々の受付時間を指定しその案内文書と問診票、健康チェックリスト等を事前に郵送するようにした。封筒の表面に感染対策についての記載を入れた。	肺がん検診受付時間を細かく指定したことで、検診の混雑が避けられた。また、問診票を事前に送付することで検診会場での滞在時間の短縮につながった。通知用の封筒はコロナ感染症予防の啓発にもなった。
3	テレワーク・会議システム整備事業	感染症拡大防止のため、感染リスク低減やBOP対策としてのテレワーク及びWeb会議を行うためシステムを導入する。	企画振興部 広聴情報課	2,190,320	2,190,320	2,939,684	・テレワーク専用回線を構築及びテレワークシステムを導入した。 ・全6支所でオンライン会議を安定してできるネットワークの環境整備を行った。	テレワーク及びオンライン会議を行うための環境を整備したことで人との接触機会を減らし、感染拡大防止に寄与することができた。
			企画振興部 広聴情報課	749,364	749,364		下記のオンライン関係機器を調達した。 モバイルルーター 2台 タブレット 8台 セキュリティ機器 1台	空き家や移住の相談を遠方からオンラインでできるようになり、人との接触機会を減らすことで感染拡大防止に寄与することができた。
4	スマート自治体推進事業	新しい生活様式を踏まえ行政事務のデジタル化を進めるため、RPA及びAI議事録作成システムを導入する。	企画振興部 広聴情報課	13,013,682	11,765,930	11,765,930	・文書の電子決裁を行えるようシステム改修を行った。 ・AI議事録作成支援システムを導入した。 ・RPAシステムを導入した。 ・オンライン会議システムのライセンスを調達した。 ・下記のオンライン関係機器を調達した。 タブレット 8台 スピーカーフォン 8台 Web会議用カメラ 1台 モニター 5台	オンライン会議や電子決裁の導入によりテレワークを促進し人との接触機会を減らすこと、またAI議事録作成支援システムやRPAシステムの導入により職員の在勤時間を減らすことで感染拡大防止に寄与することができた。
5	公共的空間安全・安心確保事業	感染症拡大を防止するため、市庁舎をはじめとした公共施設等の環境整備を行う。	財務部 管財課	8,195,611	8,195,611	42,617,148	受付カウンター飛沫防止カーテン、飛沫防止アクリル板、便座クリーナー、手指消毒液、石鹸液、電解補助液、非接触型赤外線小型温度測定器、非接触型体温計、新型コロナウイルス感染症関連庁内電話環境整備等	感染対策消耗品・備品を導入したことにより、感染拡大防止に寄与することができた。
			阿山支所 振興課	134,200	134,200		会議室の電話を多機能電話機が使用できる様修繕を行った。	多機能電話機を使用することにより全ての外線を取れ、分かれて業務をできるようになり、感染予防に貢献した。
			伊賀支所 振興課	50,568	50,568		来客用カウンターに感染予防用ビニール幕を設置した。	窓口の感染拡大防止対策をへえた。
			阿山支所 住民福祉課	114,722	114,722		支所窓口用パーテーション購入と、会議室に外線使用可能な電話増設を行った。	窓口用パーテーションを整備することにより、施設内での感染予防とともに、支所来庁者に安心感を与えた。また電話工事を行うことにより分かれて業務をできるようになり、感染予防に寄与することができた。
			大山田支所 振興課	48,400	48,400		支所窓口防疫用ビニール設置	感染リスクの軽減が図られ、利用者の安全・安心を確保することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No	事業の名称	事業の概要	担当所属	事業総額 (円)	臨時交付金活用額 (円)	事業の実施状況(実績)	効果検証
(続き) 5	(続き) 公共的空間安全・安心確保事業	(続き) 感染症拡大を防止するため、市庁舎をはじめとした公共施設等の環境整備を行う。	人権生活環境部 市民生活課	29,864	29,864	不織布マスク、ペーパータオル、タッチペン等の消毒、感染防止対策の消耗品を購入した。	従事者及び来庁者の感染予防対策を行うことができた。
			人権生活環境部 市民生活課	4,156,525	4,156,525	ベトナム語(多文化共生相談員)6月~3月雇用 スペイン語兼ポルトガル語(多文化共生相談員)6月~3月雇用	新型コロナウイルス感染症対策として、特別定額給付金、休業支援給付金、緊急小口貸付事業などの情報提供を多言語で行うとともに、生活や健康不安を抱える外国人住民の相談に外国語で対応することができた。
			大山田支所 振興課	6,600	6,600	行政バス「どんぐり号」防疫用ビニール購入	感染リスクの軽減が図られ、利用者の安全・安心を確保することができた。
			上野支所 振興課	4,287,000	4,221,000	・38地区市民センターの消耗品(手指消毒用アルコール、掃除用アルコール、非接触型体温計、WEB会議用カメラ、イヤホンマイク、ペーパータオル、不織布マスク、アクリルパーテーション)購入 ・7地区市民センターの網戸設置 ・7地区市民センターの既設網戸修理	・感染防止対策により市民に安心して地域活動の拠点となる地区市民センターを利用頂くことができた。 ・38地区市民センターや39住民自治協議会等とそれぞれの支所とのWEB会議の開催により感染防止対策ができ、市職員及び市民共に安心して会議することができた。
			島ヶ原支所 振興課	26,070	26,070	多目的集会施設の外気入替窓への網戸の設置	多目的室全体の外気の取り入れ替えが可能となり感染対策に繋がった
			阿山支所 振興課	306,900	306,900	玉滝地区及び丸柱地区市民センターへの網戸の設置	館内を利用する方への感染対策を行うことができ、安心して施設の利用をして頂けた。
			大山田支所 振興課	265,188	265,188	山田地区市民センター網戸設置	感染リスクの軽減が図られ、利用者の安全・安心を確保することができた。
			青山支所 振興課	355,091	355,091	青山支所管内の市民センター2カ所に網戸を設置	公共施設の感染対策がより徹底され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができた。
			健康福祉部 医療福祉政策課	1,100,000	1,100,000	伊賀市総合福祉会館建具改修工事	網戸を設置することで部屋の換気が可能となり、新型コロナウイルス感染症拡大防止に寄与することができた。
			阿山支所 振興課	28,600	28,600	不特定多数が来園する阿山ふるさとの森公園に消毒液を設置した。	施設の感染対策を行うことができ、安心して施設の利用をして頂けた。
			教育委員会事務局 上野図書館	1,498,728	1,498,728	上野図書館に下記設備等を設置した。 入口付近に図書消毒機(1台)を設置 入口付近に非接触自動検温機(1台)を設置 館内に電動噴霧式消毒機(3台)を設置 飛沫防止用抗菌透明シートを設置 1階2階カウンターに飛沫感染防止用アクリル衝立を設置	利用時における感染リスクの軽減をすることで、公共施設の感染対策がより徹底され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止につながった。
			教育委員会事務局 いがっこ給食センター夢	3,498,000	3,498,000	給食センター トイレ個室内へ自動水栓手洗器4箇所設置	接触やウイルス飛散による感染リスクを低減し、施設内での感染リスク低減につながった。
			財務部 収税課	343,127	252,927	・納税窓口に消毒用アルコール、マスク、ペーパータオル等を設置 ・窓口担当者が使用する使い捨て手袋、手指消毒液、カウンター等使用消毒液の設置(来庁者月平均1200人) ・サーキュレーターを2台設置し、窓口及び執務室の空気循環を良くした。	納税窓口の感染対策を徹底し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができた
健康福祉部 こども未来課	316,001	112,001	市内の子育て支援センターで使用するスーパージアソフ、除菌ウェットティッシュ、塩化ベンザルコニウム、スプレーボトル、プラスチックグローブ、空気清浄機イオンカートリッジ、空気清浄機用フィルターを購入。	施設を利用する方への感染対策を行うことができ、安心して施設を利用していたいただくことができた。			
教育委員会事務局 生涯学習課	227,700	227,700	リモート講座等の実施に係る備品 ・ノートパソコン1台 ・Webカメラ1台 ・スピーカーフォン1台 ・ビデオカメラ1台 ・スタンドライト1台	備品整備により、リモートでの講座開催のための環境整備を図ることができた。また、会場参加ができない人に対する新たな参加機会の創出に寄与した。			

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No	事業の名称	事業の概要	担当所属	事業総額 (円)	臨時交付金活用額 (円)	事業の実施状況(実績)	効果検証
(続き) 5	(続き) 公共的空間安全・安心確保事業	(続き) 感染症拡大を防止するため、市庁舎をはじめとした公共施設等の環境整備を行う。	選挙管理委員会事務局	2,386,080	2,322,080	R2年度市長選挙執行に係り当日投票、期日前投票、開票等、不特定多数の有権者等が来場されることから新型コロナウイルス感染症対策物品としてマスク・フェイスシールド、飛沫パーティション、手袋、鉛筆、消毒液を購入した。	投票所等の新型コロナウイルス感染症対策に万全を尽くすことができ、有権者が安心して投票することができた。また、クラスター等は発生せず、選挙を起因とした感染拡大は見られなかった。
			教育委員会事務局 学校教育課	559,900	559,900	オンライン会議用電子黒板購入	教職員の資質向上のための研修機会を確保するため、オンラインでの研修開催や受講をすることができた。
			教育委員会事務局 生涯学習課	594,000	594,000	非接触型体温計2台	来館者の感染拡大防止及び感染防止対策の意識付けを行うことができた。
			健康福祉部 健康推進課	297,000	297,000	置き型非接触自動体温計を1台購入し、保健センターの入り口で検温を行い健康チェックを実施した。	施設内の感染拡大のリスクを軽減することができた。
			教育委員会事務局 学校教育課	195,800	195,800	学校医検診用マスク・アルコールハンドジェルの配布	学校医が検診を行う際に使用するマスク等の衛生用品を学校へ配布することで安全に検診業務が実施できた。
			人権生活環境部 同和課青山文化センター	76,982	41,111	施設利用者の感染防止のため、トイレ清掃具や消毒用アルコール、飛散防止のアクリルパネル等を購入した。	子どもから大人、高齢者まで施設の利用が有る中で、オートディスペンサーは利用いただきやすく、効果的であった。
			健康福祉部 保育幼稚園課	3,298,274	3,298,274	公立保育所14園を対象に感染症予防のための消耗品・備品を整備した。	感染防止対策の消耗品・備品を整備し、感染症予防を図ることができた。
			選挙管理委員会事務局	886,394	886,394	R2年度市議会議員選挙執行に係り当日投票、期日前投票、開票等、不特定多数の有権者等が来場されることから新型コロナウイルス感染症対策物品としてマスク・フェイスシールド、飛沫パーティション、手袋、鉛筆、消毒液を購入した。	投票所等の新型コロナウイルス感染症対策に万全を尽くすことができ、有権者が安心して投票することができた。また、クラスター等は発生せず、選挙を起因とした感染拡大は見られなかった。
			企画振興部 文化交流課	54,384	54,384	芭蕉翁記念館に手指消毒用アルコール・物品消毒用アルコールを設置	施設の感染対策がより徹底され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができた。
			上野支所 振興課	1,141,910	1,141,910	・2地区市民センターの換気扇修繕 ・1地区市民センターの空調機修繕	感染防止対策により市民に安心して地域活動の拠点となる地区市民センターを利用頂くことができた。
			企画振興部 文化交流課	1,078,000	1,078,000	あやま文化センターの空調設備修繕を行った。	新型コロナウイルス感染症対策として扉を開放して施設使用する際に空調を利かせることにより、あやま文化センター内図書室の温度管理を図ることができた。
			企画振興部 文化交流課	496,100	496,100	芭蕉翁記念館内の2箇所の事務所の空調設備を修繕した。	新型コロナウイルス感染症対策として扉を開放して施設使用する際に空調を利かせることにより執務室の温度管理を図ることができた。
			人権生活環境部 市民生活課	4,994,000	4,994,000	伊賀市斎苑における利用者等の感染拡大防止のため空調設備の移設を実施 室外機 1基 室内機 7基	空調設備の設置により、空気循環もよくなり、施設利用者の感染リスクの軽減と感染防止につながった。
			産業振興部 観光戦略課	2,029,500	2,029,500	だんじり会館の空調設備の更新を行った。	空調設備を更新したことで感染リスクの軽減が図られ、利用者の安全・安心を確保することができた。
6	公共交通利用促進事業	感染症拡大により経営に大きな影響を生じている公共交通機関(伊賀鉄道、行政バス)を支援するとともに地域経済を活性化させることを目的に、市民にフリー乗車券を配布ならびに通学定期券購入を助成する。	企画振興部 交通政策課	9,742,096	9,742,096	・コロナ禍で公共交通機関を安全に利用する啓発チラシを作成し、市内各戸、保育所、小中学校、各種団体に配布。配布数計:48,094部 ・公共交通への応援メッセージを募集し、メッセージを活用したポスターを作成・掲出。応募者にICOCAカード・伊賀鉄道1日フリー乗車券・行政バス回数券を配布。応募総数:2,103件	コロナ禍で公共交通機関を安全に利用いただくための啓発を行うと共に、応援メッセージを活用した啓発及び1日フリー乗車券等の配布によりコロナ禍における市内公共交通機関の利用促進と地域経済の活性化に寄与した。
			企画振興部 交通政策課	5,819,800	5,544,800	伊賀鉄道伊賀線の通学定期券購入者を対象に購入費の1/3を助成。申請:のべ604件	通学利用に助成を行うことで利用者離れを抑制し利用促進と地域経済の活性化に寄与した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No	事業の名称	事業の概要	担当所属	事業総額 (円)	臨時交付金活用額 (円)	事業の実施状況(実績)	効果検証	
7	人権啓発推進事業	新型コロナウイルス感染者等に対する人権侵害の防止に資するため、市民向けの啓発チラシを作成し、各戸配付する。	人権生活環境部 人権政策課	346,500	346,500	974,590	新型コロナウイルス感染症への対応に係る人権侵害防止啓発チラシ35,000枚、新型コロナウイルス感染症への対応に係るDV被害者に対する相談窓口周知啓発チラシ35,000枚を印刷し、伊賀市内へ各戸配布を行うとともに、本庁、男女共同参画センター、市民センター窓口へ設置した。	両チラシの各戸配布、窓口設置により、新型コロナウイルス感染症に係る偏見や差別に対する啓発となり、人権侵害防止につながった。また、コロナ禍に起因するDV等の増加、深刻化について啓発し、DV相談窓口等を周知することができた。
			人権生活環境部 人権政策課	55,440	55,440		企業啓発用として、新型コロナウイルス感染症への対応に係る人権侵害防止啓発チラシとDV被害者に対する相談窓口周知啓発チラシを各3,500枚増刷し、差別をなくす強調月間中の企業訪問において資料提供し、啓発を行った。	コロナ禍の中であったが、100社に企業訪問を実施、111社に資料を郵送することで、人権啓発に係る取り組みについて聞き取りを行ったが、その際に、新型コロナウイルス感染症への対応に係る人権侵害防止啓発チラシとDV被害者に対する相談窓口周知啓発チラシを配布し、内容説明を行うことで、企業に対する啓発を行うことができ、啓発効果を上げることができた。
			企画振興部 広聴情報課	418,000	418,000		・臨時番組制作業務委託(8回) ・番組制作用備品としてビデオカメラを購入	行政チャンネルや市公式YouTubeチャンネルなどで市民に向けた市長メッセージを放送し、感染拡大防止等の注意喚起を行うことができた。
			健康福祉部 障がい福祉課	40,000	40,000		市内の障害福祉サービス事業所職員に、新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識習得のための研修を実施。 市内事業所 20人参加	新型コロナウイルス感染症の正しい理解により、人権侵害の防止につなげることができた。
			健康福祉部 保育幼稚園課	60,000	60,000		市内私立病院専門医による、リモートでの感染症対策研修会を実施した。3回実施(8/19、8/26、9/2)	保育士が感染症対策の知識を深めることで、感染症の予防に寄与することができた。
			健康福祉部 介護高齢福祉課	20,000	20,000		令和2年度第1回介護サービス事業者集団指導の際、看護士を講師に招き、「介護サービス事業者職員のための新型コロナウイルス感染対策研修会」を実施。	感染症に対する正しい知識を学んでもらい、施設内外での衛生管理や体調不良利用者への対応、発生時の対応に役立てることができた。
			健康福祉部 健康推進課	34,650	34,650		日本語以外の言語の住民への感染予防啓発のため多言語版ポスター(8か国語)を作成した。	感染予防対策を記載した多言語版ポスター(8か国語)により、外国人にもわかりやすい感染予防の啓発ができた。
8	保育幼稚園環境整備事業	感染症拡大防止のため、公立保育所(園)・幼稚園において必要な環境整備を行う。	健康福祉部 保育幼稚園課	1,587,344	1,587,344	2,797,344	公立保育所10園の網戸の修繕	保育室等を換気し、感染拡大リスクを低減することができた。
			健康福祉部 保育幼稚園課	1,210,000	1,210,000		公立幼稚園1園の網戸の設置	保育室等を換気し、感染拡大リスクを低減することができた。
9	地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	感染症拡大防止のため、市内医療機関へ衛生用品等を届けるとともに、市応急診療所の医療体制を強化する。	健康福祉部 医療福祉政策課	5,846,060	5,546,060	8,379,619	市内医療機関向けにマスク、消毒液等感染対策物品の購入	感染対策がより徹底され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができた。
			健康福祉部 医療福祉政策課	3,833,559	2,833,559		応急診療所運営検討会臨時開催 受付トリアージのため事務職員を増員 受付トリアージ用コンテナ設置	感染対策がより徹底され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができた。
10	救急医療体制維持確保事業	二次救急医療体制維持のため、発熱等症状のある救急患者受け入れに必要となる院内感染防止対策などの支援を行う。また、救急当番日における従事者の増員や手当、物品購入や設備対策等に対する支援として補助金を交付する。	健康福祉部 医療福祉政策課	5,398,192	5,398,192	6,389,192	救急医療体制整備事業(負担金) 1式	救急医療体制の維持が図られ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができた。
			健康福祉部 医療福祉政策課	991,000	991,000		新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための特別作業手当 新型コロナウイルス新規入院患者受入の為の待機手当	救急医療体制の維持が図られ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができた。
11	検診・健診時の安全・安心確保事業	感染症拡大防止のため、検診や母子健康診査時に必要な消耗品を購入する。	健康福祉部 健康推進課	134,424	134,424	185,717	保健事業実施時の感染予防対策物品として、アルコール消毒薬、フェイスシールド、手袋、マスク等を購入した。	感染予防対策を取って事業が継続できた。
			健康福祉部 健康推進課	51,293	51,293		幼児健診実施時の感染予防対策物品として、消毒液(次亜塩素酸)、滅菌舌圧子、デイスボ菌鏡、手袋、非接触体温計を購入した。	感染予防対策を取って幼児健診を実施できた。
13	幼児検診・相談事業	感染症拡大防止のため、幼児検診・相談を分散して開催する。	健康福祉部 健康推進課	144,300	144,300	144,300	幼児の集団健診の実施回数を増やし健診1回あたりの受診者を減らした。 検診スタッフの件費 小児科医、歯科医師、助産師、栄養士、歯科衛生士	幼児健診の回数を増やすことで、健診1回あたりの受診者が減り、密集を避けるとともに、会場での滞在時間が短縮できた。



令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No	事業の名称	事業の概要	担当所属	事業総額 (円)	臨時交付金活用額 (円)		事業の実施状況(実績)	効果検証
14	小中学校給食伊賀産食材利用促進事業	感染症の影響を受け売上高が減少した農畜産業などの支援や地産地消と食育推進に資するため、小中学校給食において、月1回伊賀産食材による給食を実施する。	産業振興部 農林振興課	12,715,324	12,715,324	12,715,324	実施回数延べ:53回 対象人数:7,214人	月に1度伊賀産の食材による給食を実施することで、農畜産業などの支援や地産地消と食育推進に繋がった。
15	新型コロナウイルス対策事業者応援給付金	感染症の影響を受け売上高が減少した事業者に対し、給付金を交付し事業継続支援を行う。	産業振興部 商工労働課	30,800,000	30,000,000	32,029,674	コロナ前と比較して30%以上50%未満の売上げが落ち込んだ中小企業者を対象(50%以上減少は国の給付金対象となるのでそこに到達しない事業者が対象)に1件20万円を給付した。(154件)	売上げが減少している中小企業者に事業継続のための支援を行うことができた。
			産業振興部 商工労働課	2,029,674	2,029,674		新型コロナウイルス感染症対策事業を行うにあたり、会計年度任用職員を2名雇用した。	
16	新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金	感染症の拡大を阻止するため、三重県が行う緊急事態措置による休業要請・依頼に全面協力いただける中小企業・小規模事業者(個人事業主を含む)に対して、三重県・伊賀市が協調して協力金を交付する。	産業振興部 商工労働課	109,793,898	109,793,898	109,793,898	県内事業者411件、県外事業者35件、計446件に交付。内訳は食事提供施設208件、商業105件、遊興施設60件、学習塾等44件、運動施設16件、ホテル及び旅館と集会・展示施設各5件、博物館等3件であった。	緊急事態宣言やまん延防止措置重点区域に指定されるなど止むを得ず休業いただいた際に交付したことで、事業の継続と新型コロナウイルス感染症拡大防止が図れた。
17	プレミアム付商品券事業補助金	感染症拡大により停滞した地域経済の再生を図るため、観光誘客及び消費の誘導策ならびに家庭経済支援策としてプレミアム商品券を販売・配布する。(宿泊客へ5千円分を3千円で販売、市民へ8千円分を5千円で販売、保育世帯へ5千円分を無償配布)	健康福祉部 保育幼稚園課	11,534,000	11,534,000	198,004,677	園児2,409人に商品券を配付(商品券12,045,000円分配付、うち利用実績11,534,000円)	地域経済への支援ならびに保育世帯における家計の支援を実施することができた。
			産業振興部 商工労働課	171,157,677	171,157,677		市民向け:399,728枚(49,966冊)発行、398,977枚使用 期間中、449,815,000円分の商品券が使用された。	商品券を発行することで、消費意識を喚起し、経済の活性化を図った。期間内に市内の店舗で4億円以上の商品券が使われたことで経済的な支援ができた。
			産業振興部 観光戦略課	15,313,000	15,313,000		【対象となる宿泊期間】2020年8月8日～2021年2月28日 【参加宿泊施設数】18 【クーポン券配布枚数】39,985枚 【クーポン券使用枚数】39,304枚 【換金率】98.3%	新型コロナウイルス感染症の拡大により減少した本市への誘客を速やかに回復させるとともに、疲弊した地域経済の再生に寄与した。
18	都市公園安全・安心確保事業	感染症拡大防止のため、都市公園の安全確保に必要な消耗品購入や、使用再開時における遊具などの消毒を行う。	建設部 都市計画課	1,261,877	1,261,877	1,261,877	・公園遊具等の消毒用消耗品の購入 ・都市公園施設の遊具等消毒作業(2回)	感染症予防対策を図ることができ、施設利用者の安全・安心を確保することができた。
19	離職者用市営住宅改修事業	感染症の影響による離職者を対象に、市営住宅を提供できるように必要な修繕を行う。	建設部 建築課	4,072,662	4,072,662	4,072,662	新型コロナウイルス感染症の影響による解雇・雇止めにより住居の退去を余儀なくされた者に対し、生活の安定に寄与することを目的として一時使用として市営住宅を提供するために空家5戸の修繕を行い、設備を整えた。	新型コロナウイルス感染症の影響による離職退去者1名に対し市営住宅を提供し、次の生活基盤を整えるまでの生活の安定に寄与することができた。
20	消防救急体制安全・安心確保事業	感染症拡大防止のため、消防窓口等の感染防止対策また感染症の疑いがある傷病者の救急搬送対応などに必要な資機材などを購入する。また、新しい生活様式を踏まえ国が導入を進めるNET119システムに必要な機器を整備する。	消防本部 消防総務課	1,060,114	1,060,114	24,936,779	8庁舎の消防窓口に感染防止用パーテーションを設置した。	申請や届け出等に訪れる来庁者への感染リスクを軽減することができ、感染拡大防止につながった。
			消防本部 消防総務課	17,436,275	17,436,275		ディスプレイマスク、シューズカバー、ニトリルグローブ、N95マスク、感染防止衣、非接触赤外線体温計、気管挿管資器材、消毒液、フェイスマスク、除菌シート、心電図電極、救急用酸素、除細動用パッド、アドレナリン、救急用アルミシート、医療廃棄物処分量、自動うがい器、自動心マッサージ器、救急車オゾン除菌装置、感染防止着用品ロッカー、非接触自動検温器の購入	新型コロナウイルス感染事案に必要な感染防止対策資器材を備え、隊員への感染リスクの低減と、搬送時の周囲への感染拡大防止につながった。
			消防本部 消防総務課	6,691,190	6,440,390		・大山田分署・丸山分署・東分署 空調修理 ・NET119緊急通報システム回線利用料 ・NET119消防本部個ネットワーク構築 ・NET119緊急通報システム利用料 ・位置情報システムモニターの購入	インターネットを利用した119番通報や、通報者の所在地が分かる位置情報システムにより、増加する新型コロナウイルス感染症患者への対応が迅速に行うようになった。
21	幼稚園安全・安心確保事業	感染症拡大防止のため、公立幼稚園における感染防止用資機材などを購入するとともに、家計支援のため休園から再開後7ヶ月間の給食費を無償にする。	健康福祉部 保育幼稚園課	367,500	367,500	688,250	公立幼稚園1園を対象に感染症予防のための消耗品・備品を整備した。	感染防止対策の消耗品・備品を整備し、感染症予防を図ることができた。
			健康福祉部 保育幼稚園課	320,750	320,750		6～12月分の園児のお弁当代(副食費分)を無償とした。1食あたり250円×1,283食=320,750円	給食費の減免により、保育世帯における家計の支援を実施することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No	事業の名称	事業の概要	担当所属	事業総額 (円)	臨時交付金活用額 (円)		事業の実施状況(実績)	効果検証
22	学校環境整備事業	感染症拡大により学校が臨時休業したことから夏季休暇を短縮して授業を行う予定であることから、猛暑の中、快適に授業を受けることができるよう、また安全な学校生活ができるよう学習・学校環境を整える。	教育委員会事務局 教育総務課	228,800	228,800	6,814,500	市内小学校(1校)冷風扇購入	感染症対策として換気することができた。
			教育委員会事務局 教育総務課	2,700,500	2,700,500		市内小学校(1校)調理室空調設備改修工事	感染症対策として換気することができた。
			教育委員会事務局 教育総務課	2,901,800	2,336,400		市内小学校(3校)空調の更新、修繕、電気設備改修工事	感染症対策として換気することができた。
			教育委員会事務局 教育総務課	1,548,800	1,548,800		市内中学校(3校)空調の設置、修繕工事	感染症対策として換気することができた。
23	学力向上推進事業	感染症拡大防止のための臨時休業に伴い、学習への影響を受けた児童・生徒の学習支援として、図書カードを配付する。	教育委員会事務局 学校教育課	19,485,000	19,485,000	19,488,000	児童生徒に図書カード(3,000円×6,495人)の交付	臨時休校に伴い学習への影響を受けた児童生徒に対して交付することにより、学習意欲の向上や自主学習への支援ができた。
			教育委員会事務局 学校教育課	1,534	1,534		事務用品等購入	図書カード配布に伴う事務用品等を購入し、円滑に交付業務を進めることができた。
			教育委員会事務局 学校教育課	1,466	1,466		事務用品等購入	不登校児童生徒が通級する適応指導教室内の棚等に衛生管理のため分かりやすい表示を行い、見える化をし児童生徒が安心して学習する環境を整えることができた。
24	給食費無償化事業	感染症拡大防止のための臨時休校ならびに自粛要請による休園に伴う給食休止により、保護者負担となっている給食材料費を減免する。さらに家計支援のため再開後7ヶ月間の給食費を無償にする。	健康福祉部 保育幼稚園課	2,633,055	2,633,055	212,611,470	私立保育園14園・認定子ども園1園に対して登園自粛要請し、自粛に協力いただいた日数分の給食費の減免を実施した。	登園自粛要請により登園児童数が減少したことで、感染症拡大を防止することができた。
			教育委員会事務局 学校教育課	78,130,113	78,130,113		臨時休校に伴う急な食材キャンセル料に対する支援及び給食費の無償化(6月から12月)を実施した。	感染拡大による急な休校や学級閉鎖に対し、食材キャンセルが生じた際の保護者負担軽減への支援を行うことができた。 全国的感染拡大で保護者の収入減に対し、給食費を無償化し市が負担することで保護者の負担軽減となった。
			教育委員会事務局 いがっ子給食センター夢	74,993,279	74,993,279		センター給食、中学校9校 7カ月分(6月～12月)給食費の補助	保護者の経済的負担軽減を図ることができた。
			教育委員会事務局 大山田給食センター	6,127,559	6,127,559		センター給食、小学校1校 7カ月分(6月～12月)給食費の補助	保護者の経済的負担軽減を図ることができた。
			教育委員会事務局 いがっ子給食センター元氣	50,727,464	50,727,464		センター給食、小学校12校 7カ月分(6月～12月)給食費の補助	保護者の経済的負担軽減を図ることができた。
25	テレワーカー向けサービス環境整備事業	感染症の影響によるテレワーク等の新たな働き方に係る環境整備を支援する。	人権生活環境部 市民生活課空き家対策室	4,028,280	2,186,280	2,186,280	・空き家バンクシステム導入 ・テレワーク施設整備支援1件	・360度カメラやYouTubeによる物件紹介、旬の地域情報の発信を行ったことにより、コロナ禍の外出制限時でも移住促進ができた。 ・移住者の増加に繋がった
26	必需物品供給事業	感染症拡大防止のため、介護事業所等へ防護用ガウン等を購入し、配布する。	健康福祉部 介護高齢福祉課	6,362,598	6,362,598	6,362,598	市内144事業所に、以下物品を購入、配布した。 消毒液(137.5ケース)・プラスチックグローブ(500箱)エプロン(105ケース)・ウエットクロス(246個)ウエットクロス詰替(42個)・フェイスシールド(150箱)ビニール袋(940箱)・アイソレーションガウン(160袋)フェイスシールド(900枚)	感染防止対策物品を各事業所に配布し、利用者への感染拡大防止対策に寄与した。
27	水道基本料金無料化事業	感染症による各家庭・事業所の経済的な影響を支援するため、7月から4ヶ月分の水道基本料金を減免する。	上下水道部 営業課	119,025,280	119,025,280	119,025,280	令和2年9月請求分から令和2年12月請求分までの4ヶ月間の水道基本料金の減免 減免額 117,708,580円 システム改修費 1,316,700円	市民及び事業者の経済的負担の軽減を図ることができた。
29	観光/シティプロモーション活動事業	感染症の影響を受けた本市への観光誘客を速やかに回復させるため、感染収束後に実施される国のGoToキャンペーンに合わせ、市内宿泊施設に宿泊した人を対象にオリジナルキャンペーンとして観光施設三館(伊賀上野城、忍者博物館、だんじり会館)共通入館券を無償配布する。	産業振興部 観光戦略課	56,999,250	56,999,250	56,999,250	三施設割引共通券購入 大人@1,750円×20,727枚 小人@1,000円×20,727枚	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた本市への観光誘客の速やかな回復と、本市の観光を牽引する中心市街地の観光施設の維持存続に寄与した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No	事業の名称	事業の概要	担当所属	事業総額 (円)	臨時交付金活用額 (円)		事業の実施状況(実績)	効果検証
30	GIGAスクール構想情報機器整備事業	GIGAスクール構想実現のための児童生徒1人1台端末ならびに家庭学習のための通信機器を整備する。ただし、交付対象経費は、文部科学省「公立学校情報機器購入事業」及び「家庭学習のための通信機器整備支援事業」を超えた分とする。	教育委員会事務局 教育総務課	486,200,000	285,500,000	285,500,000	市内小中学校(29校)学習用端末(7000台)購入	感染症拡大時においても学習を継続することができた。
31	学校の臨時休業に伴う学習等への支援事業	感染症拡大防止のため、スクールバスを増便して運行する。また、感染症の影響により修学旅行の計画が変更になったため、航空機違約金等の追加経費に充当する。	教育委員会事務局 教育総務課	8,419,620	8,419,620	8,892,180	市内中学校スクールバスの増便	バス車内における密状態を緩和することができた
			教育委員会事務局 学校教育課	472,560	472,560		修学旅行キャンセルに伴う違約金の負担	感染拡大により急な修学旅行のキャンセルが生じた際の違約金等を市が負担することで、保護者負担が発生することがなかった。
32	PCR検査体制整備補助事業	医療機関がPCR検査体制整備に必要な機器を購入するにあたり、「新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業」(厚生労働省)の支援金を超える部分について補助を行う。	健康福祉部 医療福祉政策課	10,000,000	10,000,000	10,000,000	検査機器購入 1式 検査機器用試薬 1式	診療体制の確保が図られ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができた。
33	新生児子育て世帯への臨時給付金	特別定額給付金の受給対象外となった新生児がいる子育て世帯の家計支援のため臨時給付金を支給する。	健康福祉部 こども未来課	47,189,168	46,089,168	46,531,898	令和2年4月28日から令和3年3月31日までの間に出生し、伊賀市に住民登録された乳児459人に10万円を支給。給付率99% (459/461)	「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」(令和2年4月20日閣議決定)の趣旨を踏まえ実施した特別定額給付金給付事業の対象とならない令和2年4月28日以後に出生した乳児がいる世帯に対して子育て支援(経済支援)を行うことができた。
			健康福祉部 こども未来課	442,730	442,730		会計年度職員3ヶ月雇用	
35	小中学校感染症対策事業	感染症拡大防止のため、全児童生徒分のマスクならびに消毒液等の衛生用品を購入する。	教育委員会事務局 教育総務課	5,284,942	5,162,942	11,189,190	全児童・生徒のマスク・消毒液等の衛生用品の購入	新しい生活様式に応じた学校運営につながった。
			教育委員会事務局 教育総務課	2,819,714	2,668,714		全児童・生徒のマスク・消毒液等の衛生用品の購入	新しい生活様式に応じた学校運営につながった。
			教育委員会事務局 学校教育課	4,164,534	3,357,534		・全校児童生徒に対し、マスク配布 ・各種検診及び学校生活での衛生管理のため消毒薬、手袋等を配布	マスク入手困難や熱中症対策等を考慮し、全校児童生徒にマスクを配布することで感染予防に寄与することができた。また、衛生管理のために消毒薬等を全校へ支給することで安全に学校生活をおくることができた。
37	子ども・子育て支援交付金	感染症拡大防止のための臨時休業に伴い、放課後児童クラブ等を臨時的に開所して対応する。	健康福祉部 こども未来課	5,876,218	1,831,218	2,169,118	市内19箇所の公設民営の放課後児童クラブ、及び1箇所の民設民営の放課後児童クラブで実施	・放課後児童クラブにおける感染対策がより徹底され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができた。 ・国の方針に基づき小学校が臨時休業した際、放課後児童クラブを開所し、就労している保護者に監護される児童の居場所を提供できた。
			健康福祉部 こども未来課	992,000	332,000		市内1箇所の民設民営の放課後児童クラブで実施	・放課後児童クラブにおける感染対策がより徹底され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与することができた。 ・国の方針に基づき小学校が臨時休業した際、放課後児童クラブを開所し、就労している保護者に監護される児童の居場所を提供できた。
			健康福祉部 こども未来課	15,900	5,900		新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業によりファミリーサポートセンター事業を利用する場合に於いての利用料金(上限6,400円)を助成	小学校が臨時休業になった際、ファミリーサポートセンター事業で対応し、保護者の負担軽減に繋がった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証

No	事業の名称	事業の概要	担当所属	事業総額 (円)	臨時交付金活用額 (円)		事業の実施状況(実績)	効果検証
38	学校保健特別対策事業費補助金	感染症拡大防止ならびに学習保障のため、市立小中学校の環境整備を行う。	教育委員会事務局 教育総務課	3,064,600	1,532,600	18,529,097	市内小学校(20校)製氷機購入	夏季における学校再開に伴う熱中症対策を行うことができた。
			教育委員会事務局 教育総務課	1,903,000	952,000		市内小学校レバーハンドル交換工事	新しい生活様式に応じた学校運営につながった。
			教育委員会事務局 教育総務課	2,222,000	1,727,000		市内中学校レバーハンドル交換工事	新しい生活様式に応じた学校運営につながった。
			教育委員会事務局 教育総務課	1,532,300	766,300		市内中学校(10校)製氷機購入	夏季における学校再開に伴う熱中症対策を行うことができた。
			教育委員会事務局 教育総務課	17,733,441	8,866,441		市内各小中学校へ配当し、実情に応じた感染対策用消耗品や備品等を購入	コロナ禍での新しい生活様式に応じた学校運営につながった。
			教育委員会事務局 教育総務課	9,369,756	4,684,756		市内各小中学校へ配当し、実情に応じた感染対策用消耗品や備品等を購入	コロナ禍での新しい生活様式に応じた学校運営につながった。
39	文化芸術振興費補助金	感染症拡大防止のため、市内文化施設のロビー及び茶屋の空調設備改修工事を行う。	企画振興部 文化交流課	9,788,900	4,894,900	4,894,900	伊賀市文化会館の空調設備改修工事を行った。	新型コロナウイルス感染症対策として扉を開放して施設使用の際に空調を利かせることにより、施設の温度管理を図ることができた。
40	母子保健衛生費補助金	感染症拡大防止のため、乳幼児育成事業をオンラインで実施できるよう環境を整備する。	健康福祉部 健康推進課	406,084	203,084	203,084	・感染症拡大時、対面での相談や保健事業等が実施できないときオンラインを活用し事業を実施した。 ・妊婦に国から提供されたマスクを郵送した。	妊婦、乳幼児を持つ保護者が感染が拡大しているときでもオンラインを利用して、相談や保健事業を実施することができた。また、国からのマスクを早急に妊婦に提供することができた。
41	障害者総合支援事業費補助金	感染症拡大により、利用ニーズの高い日中一時支援の受入れを強化する。	健康福祉部 障がい福祉課	5,003,793	1,252,793	1,252,793	対象期間 4月、5月 20事業所 マスク支給 13事業所	特別支援学校等の臨時休校に伴う日中一時支援の利用受入れを行うことができた。